

 <p>英国初の航空ショーイギリス 1909年、英国ドンカスター飛行場で世界最初の航空ショーが行われた。1903年、ライト兄弟による最初の飛行が成功して以来、わずか6年しか経過していない。</p>	 <p>第4回、パリ航空ショーフランス 1908年から行われているパリ航空ショーは世界3大航空ショーの一つ、1924年からは隔年開催となった。現在では航空宇宙機器の国際見本市である、本年度で48回を迎えた。</p>	 <p>ニース 1910 アビエーション ミーティング フランス 1910年4月、ニースで行われたアビエーションミーティング、ポスターの作家はシャルル・プロス。</p>	 <p>ポベ空港 フランス 1910年8月フランス北東部バルル・デュックの町の郊外、ポベの草原において航空ショーが開催された。25,000人の観客が訪れたが、パイロット整備員とともに経験不足であったことから、成功とはいえなかった。</p>
<p>50-B293 First Aviation meeting ¥3800 ドイツ製 30x20cm 3D立体パネル ニス光沢仕上げ</p>	<p>50-P5028 Locomotion Aerei ¥3800 ドイツ製 30x20cm 3D立体パネル ニス光沢仕上げ</p>	<p>50-B294 Nice 1910 ¥3800 ドイツ製 30x20cm 3D立体パネル ニス光沢仕上げ</p>	<p>50-P5030 Aerodome de Popeye ¥3800 ドイツ製 30x20cm 3D立体パネル ニス光沢仕上げ</p>
 <p>ベルリンコンクールフリーゲン (飛行大会) ドイツ 1909年9月26日から8日間、ベルリン郊外、ヨハニスタールでパイロット世界を決めるコンクールが行われた。優勝者は15万マルクと当時としては破格の高額賞金がかけられた。</p>	 <p>フライヤー セントレイス スピリット アメリカ 1927年、チャールズ リンドバーグは最初の大西洋横断を行った。飛行機の名は「セントレイス スピリット」、巡航速度180キロ、機体はライアンVYP-1を使用、ニューヨーク パリ間を33時間半、2万5千ドルの賞金を獲得した。</p>	 <p>ロコモーション エアレア スペイン スペイン最初の航空雑誌。</p>	 <p>飛行週間 フランス 1909年8月、フランス、シャンパーニュ地方のレイムで行われた。飛行週間のポスター、同年9月にはドイツでもパイロットのコンクールが開かれており、当時の人々の飛行機への熱中ぶりがうかがわれる。</p>
<p>50-P4351 Konkurrenz Fligen ¥3800 ドイツ製 30x20cm 3D立体パネル ニス光沢仕上げ</p>	<p>50-A432 Flyer ¥3800 ドイツ製 30x20cm 3D立体パネル ニス光沢仕上げ</p>	<p>50-A718 Spanish Flieger ¥3800 ドイツ製 30x20cm 3D立体パネル ニス光沢仕上げ</p>	<p>50-292 D'Aviation ¥3800 ドイツ製 30x20cm 3D立体パネル ニス光沢仕上げ</p>
 <p>コンカーズ G38 ドイツ 1931年に製造された。世界初の34人乗旅客機。2基生産され、ルフトハンザに納入された。飛行中エンジンの整備を出るように、主翼が厚みを持つ、30年代に三菱重工にライセンスされ、爆撃機7機が生産された。</p>	 <p>ビードル アメリカ アメリカの鋳造会社、ビードル社のドイツ向け広告。ジーゼル機関でも使用でき、ツェッペリン飛行船にも使用されていた。同名の飛行機、ミス ビードル号は、1931年に太平洋の無着陸飛行に成功しているが、ビードル号の飛行のスポンサーであったか否かは不明である。</p>	 <p>フェッセル バルーン ドイツ 1981年、フランクフルトで行われた国際電気博覧会のポスター。ハンブルク ニューヨークを7日半で航行することができた。第一次大戦時、偵察目的で使用された熱気球。</p>	 <p>ツェッペリン ドイツ 1900年、フェルディナンド ツェッペリンの発明した、硬式飛行船。枠組みはアルミ等の軽金属で、中には空気より軽い水素ガスを詰めた複数の気囊を持つ、動力は数基のシプロエンジンである。</p>
<p>50-P4359 Junker G38 ¥3800 ドイツ製 30x20cm 3D立体パネル ニス光沢仕上げ</p>	<p>50-B427 Veedol ¥3,800 ドイツ製 30x20cm 3D立体パネル ニス光沢仕上げ</p>	<p>50-A641 Fessel Baloon ¥3800 ドイツ製 30x20cm 3D立体パネル ニス光沢仕上げ</p>	<p>50-A835 Zeppelin ¥3800 ドイツ製 30x20cm 3D立体パネル ニス光沢仕上げ</p>
 <p>ツェッペリン ニューヨーク アメリカ 1928年に製造された新鋭のグラフ ツェッペリン号は全長235m、1万キロもの航続が可能でありニューヨーク、南米等へも就航した。</p>	 <p>ネバーソーマッチ イギリス 第2次大戦のバトルオブブリテン(英国空襲)を回顧したチャーチルの言葉。 「人類の戦闘において、これほどにも多数の人々がかくも少数の人々によって、これほど多くの恩恵を受けたことはない。」ナチス空爆を食い止めたパイロットをさす。</p>	 <p>ロイヤル エアフォース イギリス 英国空軍の要員募集広告。18歳から50歳までの成人で、職種により給料が違う様子がわかる。応募すると、本人の同意なしに陸軍、海軍に移籍されることはないと明記している。一般に軍隊では所属を自ら選ぶことはできなかった様子がよくわかる。英国戦闘機がドイツ機を迎撃するデザイン。</p>	 <p>スピットファイヤー MK VB 戦闘機 イギリス イギリス、スーパーマリン社製レシプロ、単座戦闘機。第2次大戦中イギリス空軍を初め、連合国により使用され、1950年まで使用された。23,000機が生産され、バトルオブブリテンでメッサーシュミットを迎撃し、一躍有名になった。</p>
<p>50-P4145 Zeppelin New York ¥3800 ドイツ製 30x20cm 3D立体パネル ニス光沢仕上げ</p>	<p>44-B204 Never so much ¥3,800 ドイツ製 20x30cm 3D立体パネル ニス光沢仕上げ</p>	<p>50-B203 Royal Air Force ¥3800 ドイツ製 30x20cm 3D立体パネル ニス光沢仕上げ</p>	<p>50-N37 Spitfire ¥2,800 英国製 30x41cm アメリカ製</p>
 <p>パプワールド ランカスター爆撃機 イギリス イギリス、双発爆撃機で、41年初飛行。前身のアプロマンチェスターをベースに、エンジンを4基に増やし、大きな爆弾の搭載が可能となった。機体が倍以上大きなB29より大きな積載量を誇った。第2次大戦のルールドム破壊工作に参加し、成果をあげた。</p>	 <p>スピットファイヤー MK VB 戦闘機 イギリス イギリス、スーパーマリン製の単発、単座戦闘機。第2次大戦中、英国をはじめ連合国軍で使用、23,000機以上が生産され、1950年代まで使用された。</p>	 <p>パプワールド スピットファイヤー 戦闘機 イギリス イギリス、スーパーマリン社製レシプロ、単座戦闘機。第2次大戦中イギリス空軍を初め、連合国により使用され、1950年まで使用された。23,000機が生産され、バトルオブブリテンでメッサーシュミットを迎撃し、一躍有名になった。</p>	 <p>パプワールド ウェリントン 急降下爆撃機 イギリス 1936年 45年にかけて11,454機が製造された。ウィッカーズ社独特の大鋼構造の機体を持つ爆撃機で、第2次大戦初期のイギリス空軍爆撃機部隊の柱として活躍。「ウインビー」の愛称で親しまれた。43年以降は爆撃任務から外され沿岸哨戒や輸送任務で使用された。</p>
<p>45-B166 The Lancaster ¥3,800 ドイツ製 20x30cm 3D立体パネル ニス光沢仕上げ</p>	<p>50-A581 Spitfire MK VB ¥3800 ドイツ製 30x20cm 3D立体パネル ニス光沢仕上げ</p>	<p>45-B168 The Spitfire ¥3,800 ドイツ製 20x30cm 3D立体パネル ニス光沢仕上げ</p>	<p>45-B169 Wellington ¥3,800 ドイツ製 20x30cm 3D立体パネル ニス光沢仕上げ</p>